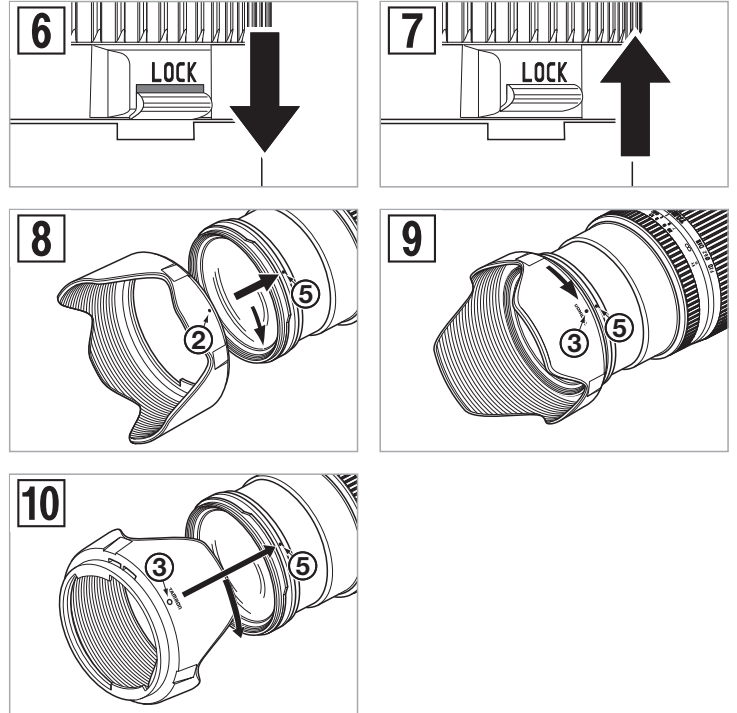
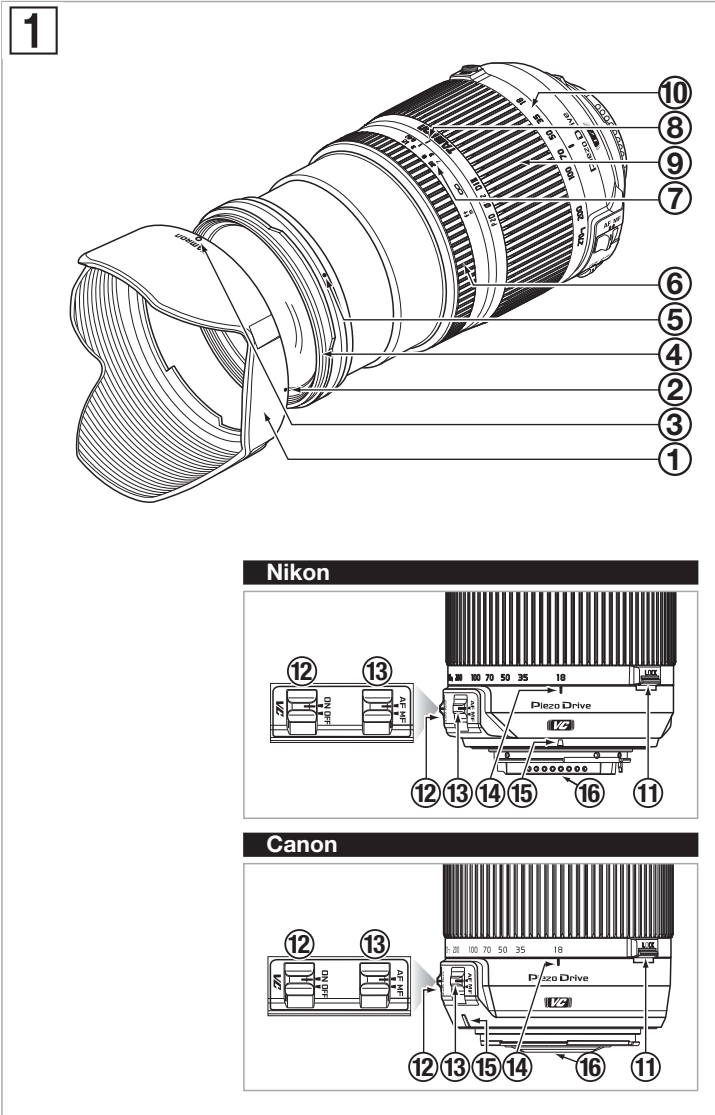


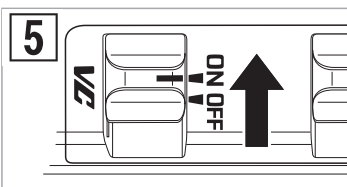
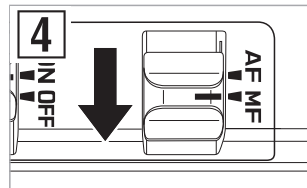
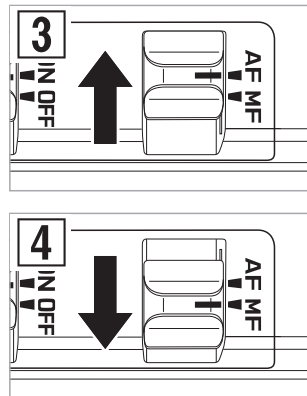
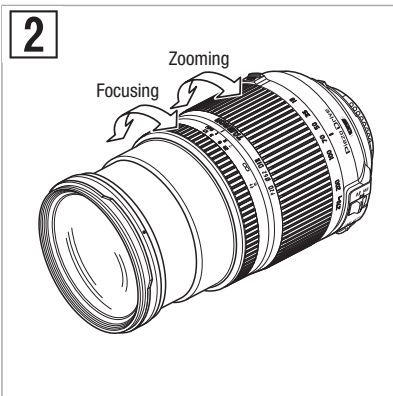
TAMRON | Model: B008TS Owner's manual

18-270mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD (for Nikon, Canon)



CE * The CE Marking is a directive conformity mark of the European Community (EC).
 * Das CE-Zeichen entspricht der EG Norm.
 * La marquage CE est un marquage de conformité à la directive CEE (CE).
 * La marca CE es marca de conformidad según directiva de la Comunidad Europea (CE).
 * Il marchio CE attesta la conformità alla direttiva della Comunità Europea (CEE).
 * CE标志表示符合欧洲共同体(CE)指标

CE The EEC Conformity Report applies to the Council Directive 2014/30/EU, 2011/65/EU and is used by Tamron Co., Ltd., manufacturer of this product.



日本語

タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も、併せてお読みください。

お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。本レンズをお使い頂く上での安全上のご注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

- 不都合が生じる恐れがある注意事項が書かれています。
- 基本操作に加えて知っていただきたい事項が書かれています。

各部の名称 (図 1 参照)

- | | |
|---------------|--------------|
| ① レンズフード | ② フード取付指標 |
| ③ フード固定指標 | ④ フィルター取付リング |
| ⑤ フード着脱指標 | ⑥ フォーカスリング |
| ⑦ 距離目盛 | ⑧ 距離指標 |
| ⑨ ズームリング | ⑩ 焦点距離目盛 |
| ⑪ ズームロックスイッチ | ⑫ VCスイッチ |
| ⑬ AF・MF切替スイッチ | ⑭ 焦点距離指標 |
| ⑮ レンズ取付指標 | ⑯ 信号接点 |

主な仕様

	B008TS
焦点距離	18 - 270 mm
明るさ	F/3.5 - 6.3
画角 (対角)	75°33' - 5°55'
レンズ構成	13群16枚
最短撮影距離	0.49 m
最大撮影倍率	1:3.8 (270 mm時)
フィルター径	φ62 mm
長さ	88 mm*
最大径	φ74.4 mm
質量	450 g*
レンズフード	DA18

- *の数値はニコン用のものです。
- 長さ：レンズ先端からマウント面までの距離。
- 仕様・外観は、お断りなく変更する場合があります。

カメラへの取り付け・取り外し

レンズの後キャップを外し、レンズ取付指標⑮とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。

レンズをニコンの場合は反時計回り、キヤノンの場合は時計回りにロックがかかるまで回します。取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、取り付け時とは逆回りに回して取り外します。

- カメラの電源OFFの状態で行う取り付け・取り外しを行ってください。
- キヤノンのカメラは、カメラのEFレンズ用指標 (赤丸) に合わせてください。

●詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

フォーカスモードの切り替え (図 1 - 4 参照)

オートフォーカス (AF) で撮影するときは、AF・MF切り替えスイッチ⑬をAFにします。(図3)

マニュアルフォーカス (MF) で撮影する場合は、AF・MF切り替えスイッチ⑬をMFにし、フォーカスリング⑥を手で回してピントを合わせます。(図1, 2, 4)

- 距離目盛⑦は、ある程度の目安として表記していますので、実際のピント位置と異なる場合があります。
- AF撮影時、被写体によってはAFが合いにくい場合があります。

- フルタイムマニュアル機構により、AFでピント合わせの際、AF・MFスイッチ⑬がAFのまま、フォーカスリング⑥を回すことでMFへ切り替えることが可能です。シャッターボタンから指を離し、再度シャッターボタンを半押しすると、AFが再開します。
- さまざまな状況下でピントを確保できるよう、フォーカスリング⑥は無限遠 (∞) 位置よりも余分に回転します。したがってマニュアルフォーカス撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
- 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

VC機構について (図 1, 5 参照)

VC (Vibration Compensation) は、手持ちで撮影した際に起こる手ブレを補正する機構です。

VCの使い方

VCを使用する際は、VCスイッチ⑫をONにしてください。シャッターボタンを半押しした後、ファインダー像が安定するのを確認してから撮影してください。

VCは以下のような状況下で有効です

- 薄暗い場所
- ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な場所

●次のような状況では、VCが十分に作動しない場合があります

- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
- カメラを大きく動かしながらの撮影
- 三脚を使用して撮影するとき
- バルブ (長時間露出) 撮影の際には、VCスイッチ⑫をOFFにしてください。VCが誤作動を起こす場合があります。

- VCの原理上、シャッターボタンを半押しした直後、ファインダー像がゆれる事がありますが故障ではありません。
- VCスイッチをONで使用する場合、カメラの電源を消費するため撮影可能枚数は少なくなります。
- 三脚を使用するなど、手持ち以外で固定して撮影するときは、VCスイッチをOFFにしてください。
- VCが作動中はレンズを取り外さないでください。VC作動中に外してしまった場合、レンズを振るとカタカタと音がする事がありますが、故障ではありません。レンズをカメラに装着し、カメラの電源をONにすると音は消えます。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュ充電中はVCがOFFになります。(ニコン用のみ)

ズームリング (図 1, 2 参照)

ファインダーをのぞきながらズームリング⑨を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。

ズームロック機構 (図 1, 6, 7 参照)

ズームリング⑨を焦点距離18mmの位置で回転しないように固定することができます。

■ズームロック (図6)

焦点距離目盛⑩の18mmを、焦点距離指標⑭に合わせます。ズームロックスイッチ⑪を下にずらします。

■ズームロック解除 (図7)

ズームロックスイッチ⑪を上に戻します。

- ズームする時は、ズームロックを解除してズームリングを回してください。

レンズフードについて (図 1, 8 - 10 参照)

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影することをお勧めいたします。

■使用時の取り付け (図8, 9)

レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード取付指標②を合わせます。フード着脱指標⑤にフード固定指標③が合うまでフードを矢印の方向に回します。

■収納時の取り付け (図10)

フードを逆向きに取り付けることで、収納することができます。レンズ側のフード着脱指標⑤にフード側のフード固定指標③を合わせます。フード着脱指標⑤にフード取付指標②が合うまでフードを矢印の方向に回します。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

撮影時のご注意

- ピントを合わせる前に、ズーム操作を行ってください。ピントを合わせてからズーム操作を行い撮影をすると、ピントがずれる場合があります。
- 最短撮影距離を実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、撮影範囲が広くなります。
- カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。
- カメラの表示システムの違いにより、開放F値、及び最小F値が仕様と異なる値で表示される場合がありますが、異常ではありません。
- ミラーレス一眼カメラでの使用は保証外となります。

長くご使用いただくために

- レンズ面についてゴミや汚れは、ブローアで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。
- レンズ面に指紋や油がついたときは、市販のレンズクリーニングペーパー、よく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス (眼鏡などの専用清掃布) に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。
- 鏡筒部はシリコンクロスで清掃してください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- 前玉には撥水・撥油性に優れた防汚コートが施されています。レンズクリーナー等をはじくため、お手入れの際は最後に乾拭きを行ってください。
- カビはレンズの大敵です。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。
- レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。
- 温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

TAMRON

日本語

タムロンレンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「タムロンレンズ安全上のご注意」と取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるように、保管してください。
この説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。



警告

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- レンズやレンズをつけたカメラを太陽や強い光源に向けてのぞいたり、撮影したりしないでください。失明やレンズ、カメラの故障、火災の原因となります。
- 分解したり、修理や改造をしないでください。
レンズやカメラの損傷の原因になります。
- レンズは乳幼児の手の届くところへは置かないでください。
落ちたり、倒れたりして怪我をする恐れがあります。



注意

この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があります。または物的損害が発生する可能性があります。

- 日光が直接あたるところや、自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品へ影響を与え、火災の危険となる場合があります。
- 使用しないときは、レンズキャップを必ず付けてください。
- レンズをカメラに装着する場合は、レンズとカメラを正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。
正しく装着されていない場合、レンズが外れなくなる、外れて落下する等、故障やけがの原因になります。
- レンズは撮影以外の用途には使用しないでください。
- 三脚にレンズを取り付けたまま移動しないでください。